

2013年

9

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

小林 満

〈編集人・総務委員長〉

井上 宣雄

—今月号の主な内容—

新三役挨拶	2	全鍍連 平成25年度通常総会開催	9
新理事長就任挨拶 小林 満	2	埼玉会 定期総会開催	11
第48回通常総会開催	6	平成25年度 行事予定	12
ビジネスアリーナ2014ご案内	8		



147号



新三役挨拶

新理事長就任挨拶

理事長 小林 満



先輩諸氏の築き上げてきた組合としての実績を大切にしながら今の時代に即した組合運営を心がけて行く所存です。さて、我々を取り巻く環境は創立から半世紀のあいだに大きく変わっています。

5月の総会で理事長を拜命しました。創立から50年になろうとする歴史ある埼玉県鍍金工業組合の理事長を引き受ける事は大変光栄であると同時にその責任の重さをひしひしと感じております。

当初は、業界の連携を図りながら環境整備をどう進めて行くのか。排水処理技術は、設備資金は、更なる技術革新は、今後の環境規制はどうなるのか。組合としての活動の目的が大変はつきりしており、まさに黎明期、発

展期であったと思われました。

環境問題が一段落したところで日本経済の飛躍が始まりました。仕事は寝る間もないほどの量が舞い込んでくる、組合加入企業もどんどん増え最盛期を迎えたようでした。

組合活動も活発になり環境先進企業の見学等々活発な活動が展開されていたようです。

ドルショック、オイルショック、バブル崩壊といくつもの荒波に遭遇してきましたが組合企業数は増減を繰り返しながら現在の八十数社となりました。全国的にみてもめつき事業者数はこの10年15年の間に半減してい

ます。まさに激動期といえるのではないのでしょうか。しかし決して衰退ではなく変化に対応できた企業が勝ち残ってきているのです。

そんな企業集団の要望を汲み取り組合としてどんな事業展開をして行ったら良いのか、難しい課題です。ご意見ご要望を寄せていただければ幸いです。

おかげさまで若い人材が順調に育ち組合に貢献をしてくれています。共に全力で取り組んでまいりますのでご支援と御協力をお願いいたします。

明日の為の、組合へ 副理事長 黒澤 久



過日の平成25年度の総会において、副理事長を仰せつかりましたスリーケ株式会社黒澤久です。

創立以来諸先輩方が築き上げてこられ48年を迎えた、歴史あるこの組合の役職に身の引き締まる思いであります。振り返れば埼玉会入会から組合に参加して35年近くになります。

十数年前には全国青年中央会設立の為全国を回り、当時8万人超の二代目全国会長を務めさせて頂きました。その経験から改めて組合の必要性、そして青年部の大切さを経験させて頂きました。

業界あるいは地域の発展の為には、集まればパワー、継続は力の基、中小企業組合に集いあらゆる課題を乗り越え、更に行政への発信力を強めて行かなければ我々中小企業の未来は見えてこない。その中小企業組合を長期に渡り活性化させる為には、青年部の存在が必要不可欠である、青

年部の無い中小企業組合に明日は無い。

今、我々中小企業を取り巻く経済環境も目まぐるしく変化してきている、過去の成功モデルはすでに通用せず、お手本の無い局面に差し掛かってきている。

アベノミクスの三本の矢「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」の効果は、我々中小企業には全く感じることは出来ません。むしろ資材高騰で厳しさは増して来ていてアベノリスクを強く感じている。そんな厳しい時代、今改めて組合の真価が問われていると考えます。

決断は経営者の最大の仕事です。少しの判断ミスが致命傷に

なりかねません、そんな厳しい経済環境の時こそ組合活動に参加して沢山の経営者と議論し、対策、処方箋を語り合い、経営判断する時の肥やしにするべきです。組合には沢山の情報が集まります、自企業の継続、発展の為に利用して頂きたいと思うところです。

自分は浅学菲才で理性より感性で今まで生きて来ましたが、色々のご迷惑を掛けることも多々あるかと思いますが、微力ながら小林丸を盛り上げ与えられた役職を精一杯務めさせて頂きます。会員の皆様のご指導ご鞭撻、そしてご協力をお願い致します。

新副理事長挨拶

副理事長 吉田 幸司



このたび平成25年度第48回通常総会において、まだ若輩者の身ではありますが副理事長に選任され、責任の重さに身の引き締まる思いで決意を新たにしているところでございます。

1期2年 仁科前理事長の下で専務理事として仕事をさせていただきました。父が亡くなって間もなくで、な

にも解らず組合に入った私でしたが、この2年間は、諸先輩方はじめ、関係各所の皆さまから様々なことを教えていただき、そして皆様のお力添えをいただき、組合活動に励んでまいりました。

微力ではありますが、ぜひこの2年間の経験を小林新理事長の下で生かす事が出来ればと思っております。

さて、アベノミクス効果・株価の上昇などを受けて、消費者態度指数が改善しており、足元の個人消費は比較的堅調のようですが、相変わらずわれわれ中小

企業の足元にはとどいてはいないようです。

経営環境に至っても、依然として景気回復の見通しがはつきりせず、組合員のみなさまも大変ご苦労されている事と思います。

また、改正水質汚濁防止法をはじめとした環境の規制強化。

そして、相変わらず歯止めの利かない組合員数の減少問題など、様々な問題を抱えて新体制のスタートをきる事となりました。

個々に抱えるのは大変なこともかもしれません。当組合には経験豊かな先輩経営者がいます。つねに新しい事にチャレンジしていく優秀な若手経営者が

います。そして本気で話してくれる仲間がいます。

そんな皆様と一緒に副理事長としてこの新たな2年間、よりアンテナを高くし情報を共有し、多くの組合員の方に参加していただける会に、そして意味のある透明性の高い組合作りに邁進して行きたいと考えておりますので組合員の皆様におかれましては本部組合運営に対しましてご理解、ご協力を厚くお願い申し上げます。

専務理事就任の気持ち 専務理事 島田 幸昌



この度の第48回通常総会にて、専務理事に推薦され、就任の運びとなりました、島田と申します。

昨年、心筋梗塞で入院し身体が持つのか、この重責に耐えられるのか、身体に一抹の不安があり、何よりも、歴代の専務理事の皆さんは、そうそうたる面々で、とてもとても自分には出来

ないと、今でも思っています。

反面、自分にとって大変に名誉なことと思いい、小林理事長・黒澤副理事長・吉田副理事長や各委員長・各支部長の指導の下で、一生懸命、自分にできることを、やろうと思っている気持ちはあるのですが、皆様に大変に迷惑をおかけすることが、多々あると思います、皆様方の優しい心で見守ってくださいませよう、心よりお願い申し上げます。

さて、私なりに組合について改めて考えてみました。まず①は、環境や技術・めつきや経済の動向等々の発信などで

このことについては、総務委員会による広報の配布・環境委員会の公害防止管理者講習・技術委員会のめつきコンクールなどが当たり、かなり充実していると思えます。

②は、会員の操業環境等々の対策で、排水分析事業・健康診断などでは、組織だつて素晴らしい組合としての機能を果たしていると思えます。

③としては、一昨年より、技術委員会主動での展示会などへ積極的に参加しめつき全体のアピールを始めました。

又、青年部「埼玉会」が他都道府県との交流を積極的に行っております。

このような外に向けた活動は、なかなか小さい会社では

ハードルが高く、とかく井の中の蛙になりがちですが、組合でサポートすることで誰でも参加できる体制が出来てきたのではないのでしょうか、私はそう感じています。

この3点を皆様の意見を聞きさらに発展できるように心掛けていきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げますとともに、皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致して、就任の気持ちとさせていただきます。

第48回 通常総会開催される



明副理事長より開会の辞。

次に主催者挨拶を代表して仁科俊夫理事長が挨拶された。

「アベノミクスが話題に上ることが多いが中々我々のところまで回ってこないというのが現状ではないでしょうか？特に車関係が利益も出しているようだが差益で儲けているだけという話であるし、寂しいことだがパナソニックやシャープに至っては合併や再編の話も上手くいかず巨額の赤字計上となる見通しです。

埼玉県鍍金工業組合（仁科俊夫理事長）は平成25年5月21日午後4時00分よりパレスホテル大宮にて平成25年度第48回通常総会が開催されました。

来賓をはじめ組合員・賛助会員多数出席のなか、井上宣雄総務委員長が司会を務め、初めに石下一

若ククリンルーム等の設備投資の動きが始まっているようで、これが動けば半導体、液晶、太陽光発電装置等のコアとなるパーツが日本から輸出されるはずであるが、よくよく聞いて見ると九州、東

北、近畿の一部で工場を増設かと思えば、修復して製造するわけではなくサムソン等の国外の企業に売するためとこので唾然としました。残念ながら日本の製造業、特に電子産業に関しては厳しいことに変わりはないようで、あまりこの業界についても良い話が聞こえてこないのが現状だが、もう少し待てば放された第3の矢の恩恵が回ってくるのではないかと期待をしております。

また、自動車関係は一事フォー・GMの元気が無い時期にトヨタが頑張り、やつと世界の自動車ブランド第1位を奪還し、世界の車生産台数の回復もあり、明るい材料が揃いつつあります。また日本の電力事情が厳しい中ではある

が、シェールガスの北米・カナダの増産が始まり、これが確保できれば安い電力の供給が可能になるのではないだろうか。

三年ほど前に全鍍連誌でも書かせていただいたが、英国の経済学者デヴィッド・リカードが唱えた比較優位の法則という一つのルールがあり、私は得意な分野に特化し不得意な分野も周りの得意な仲間に入れて共同歩調で前に進んでいこうと言う意味だと解釈しています。そういった意味でも、これまで以上に素晴らしい組合になる事を期待申し上げます、この総会に關しましても、皆さんにご協力いただき円滑に議事が進行することを祈念申し上げます。」と述べた。

続いて、議案審議に入り議長に

小松原秀元氏・書記に熊木孝之氏が選任され議事に入った。はじめに、書記の熊木孝之氏より出席状況について本総会が成立条件を満たしているとの報告があった。

第1号議案、平成24年度事業経過報告・財産目録・貸借対照表・損益計算及び剰余金処分(案)を吉田幸司専務理事並びに各委員長が報告。

第2号議案、監査報告を島田幸昌監事より報告があり、第1号・2号議案を一括審議、満場一致で承認された。

第3号議案、平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、承認の件

第4号議案、借入金の最高限度額決定の件、を吉田幸司専務理事並びに各委員長が説明、満場一致で承認された。

第5号議案、任期満了に伴う役員改選の件では、出席者議決件数2

／3の賛同により、推薦会議による選挙方法に決まり、推薦委員代表として矢嶋新一郎氏より次期理事推薦者23名が発表され、満場一致で承認された。

新理事の承認を戴いたことにより代表理事及び担当理事の選任を決めるため総会を一時中断し別室にて第1回理事会が開催された。

理事会の終了後、総会を再開。新理事の中から選任により小林満氏が代表理事に決まった事が吉田幸司新理事より報告された。続い



て、三役理事・常任理事の発表が以下の通りに行われた。

理事長 小林 満氏
副理事長 黒澤 久氏

専務理事 吉田幸司氏

総務委員長 島田幸昌氏

副委員長 井上宣雄氏

副委員長 和田忠宏氏

技術委員長 響場功治氏

副委員長 新谷祐司氏

環境委員長 出野哲也氏

副委員長 眞子岳志氏

監事 高岡彰次氏

監事 瀬野 徹氏

(仁科俊夫前理事長は顧問理事石下一明前副理事長は相談役となる)

各理事発表の後、小林満理事長より理事代表の挨拶を頂き

「48年の歴史があるこの組合を率いていくことは大変重い責任であ



ると感じております。

今までの理事長は大変優秀な会社を経営され、それにふさわしい手腕をお持ちであった。私は歴史と比べると力が及ばないかも知れませんが一生懸命やるという気概だけは負けないつもりです。大変厳しい時代で組合員の数も年々減少しており、組合運営も益々厳しくなっていくだろうと思われるが、ただ指を咥えて何もしないで見ているだけでは死を待つばかり



であり、何かに向かって一歩踏み出すことが非常に大切で、組合に入って良かった、鍍金という商売をしていて良かったと思われるような運営をしていきたい。
 それには皆様方の暖かいご支援が必要不可欠であると考えます。ぜひご協力をお願いしたい」と述べた。
 第6号議案 その他では、吉田幸司副理事長より組合員数の報告があり、本年度、新規加入企業は無

く、退会企業は2社あり、休業が1社、正組合員企業は84社、賛助会員については脱退1社につき28社との報告があった。

全ての議案審議も滞りなく終了した後、閉会の辞を前副理事長として小林満氏が述べ総会の幕を閉じた。

小休憩後、同ホテル宴会場にて懇親会を開催し、井上宣雄総務委員長長の司会のもと、黒澤久副理事長より開会の辞。

続いて、主催者を代表して小林満理事長よりご挨拶及び新役員のご紹介がされた、

埼玉県知事代理 産業労働部 副部長 立川吉朗様

参議院議員 西田実仁様

衆議院議員 総務大臣 新藤義孝

様代理 秘書吉田耕治様

衆議院議員 武正公一様

全国鍍金工業組合連合会 専務理

事 近藤隆義様

以上の来賓の皆様より祝辞を頂いた。

そして、埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口照恭様のご発声で乾杯、祝宴に入り終始和やかな雰囲気の中、無事任期を終えられた仁科俊夫顧問理事

石下一明相談役に対し小林満理事長より感謝状と花束が贈呈された。この後、中締めのご挨拶を吉田副理事長が述べ、第48回埼玉県鍍金工業組合 通常総会 懇親会を終了した。



「彩の国ビジネス
 アリーナ2014」

1月29・30日(水・木)の2日間
 さいたまスーパーアリーナにて
 開催

年々、鍍金企業が団体で参加していることも認知されるようになってきていると同時に各社への問い合わせ・相談・契約と効果が現れはじめて、「いつも参加されていたので知っていたのですが、今回鍍金案件があったのでお話を聞きに来ました」というお客様もあられ、展示会は「種まき」という言葉を実感しています。すぐに効果は現れませんが花が咲く日は来るようです。みなさまも、その「種まき」に参加いたしませんか？
 お問い合わせは組合事務局へ

全鍍連 通常総会開催される



続き経済状況について、ヨーロッパの金融不安とかアメリカの財政の崖及び中国の尖閣問題からの不買運動で大変厳しい状況でしたが、新政権でアベノミクスで世の中は円安、株高になり明るさは取り戻している。

特に輸出金型企業は素晴らしい利益が出ているようです。

平成25年度全国鍍金工業組合連合会通常総会が、平成25年5月28日東京都港区芝公園の機械振興会館にて開催されました。

森脇総務委員長の司会で冒頭業界関係物故者に対して黙祷を奉げた後に八幡副会長の開会の辞、続いて伊藤会長が挨拶、「通常総会に多数の参加を頂いた事の御礼に

ら新会長の栗原氏へ体制が移り神谷副会長の閉会の辞で総会を終了した。

会場を移して懇親会が森脇総務委員長の司会進行により開催された。先の総会において会長に就任した栗原新会長が新任挨拶を「皆さんこんにちは、ただ今伊藤会長からバトンを受けました新会長の栗原で御座います。

伊藤会長からはパワーを頂いたつもりで御座いますが、まだ、効いてこないような感じがしております。まあ、一杯入れれば？とユーモアを交え、後改めて懇親会への参加者に対して多数の参加を頂いた事への感謝の御礼を述べ、続いて私が今まで25年近く理事等をやって参りまして、その間、技術、総務以外はほとんど広報と国際ですね。今は情報国際というふうに

国際と広報が一緒になりましたので、そういう事からいきますと20年ぐらいがそちらの方でやっているという事になります。

特に鈴木元会長とは本当に長い間組みましたしここ1年位は伊藤前会長の鞆もちで、海外に出かけ今我々として、お客様が出て行く、それに対して何ら手も打てない。何とかしたいという気持が皆さん多々有るといふふうに思っています。

そういう中においては、私も出れば1軒だけで出るのは、非常にリスクが高い。

お客さんが1軒あったとすると丸々向こうで仕事をやっていくだけの仕事をいただけるのかということ、なかなかそれも難しい。

それであれば、今考えられるのは協業化ではないのかなという感

「めつき業ビジョン2012」を昨年の暮れに発刊した。めつき業は受注型産業だが、タイアップ型、提案型をしていけるのじゃないかと思ひ、これを参考にして頂きたいと思ひます」と挨拶をし、総会に先立ち岸賞の表彰が行われ、大阪府鍍金工業組合相談役の土井昭忠氏を表彰し、受賞と功績を発表し表彰状と記念品が贈呈された。

通常総会の議案審議が満場一致で可決、総会終了の後伊藤会長が



じがします。

協業化というのは会社を一つにしてその中にいろんな会社が入るといふ協業化でやってリスク分散をするのが、一つではないかなと思います。そのかわりいろんなめつきが出来る。

そこに行けば何でも出来るというかそういう事も一つの方法かな

という感じも致します。それにつきまして、出来れば全鍍連の情報国際として、つなぎ役といえますか、そういうサポートが出来ればいいなと思っております。

長くなりましたが、これから2年間皆様方のお力を得まして、何とか勤め上げたいと思っておりますので、宜しく御願いたします。」と挨拶を閉めた。

次に土井氏の岸賞の受賞と、林氏の黄綬褒章の受賞が披露され、続いて来賓の挨拶、草間、島村、石井、渡邊、名誉顧問の発声により乾杯、宴席が開始された。

暫し歓談が続き中締めを大村常任顧問、鈴木常任顧問、伊藤常任顧問が締めを行い、三浦副会長が閉宴の辞を述べ懇親会が終了した。

埼玉鍍金会定期総会開催される

2013年6月8日(土)さいたま市大宮区の「料亭旅館新道山家」にて、埼玉鍍金の第44回定期総会が開催されました。

当日は梅雨と思えぬ炎天下の中、29名と大勢の会員にご出席いただきました。

甲斐野テックス 甲斐野氏より「平成24年度収支決算報告」、会計監査報告は監査役を代表して、(有)小林鍍金工業 小林(聡)氏が行い、意見、異議もなく、本件は無事承認されました。

次に本年度の計画案へと議事が移り、(有)吉田商店 吉田氏より事業計画案が発表され、本年度から会員各位のスケジュールに組み込み易くするため例会予定日を決めておく旨など新たな試みが報告され、続いて(株)真工社 眞子氏より期総会が開会され、まずは任期二年目となる渡辺会長よりこの一年の会員各位への感謝の意と二年目の総会を迎えるに当たったのご挨拶をいただきました。

(株)石田電解研磨工業所 石田氏より定足数が問題ないことが報告された後、(株)大倉 岡田氏より「平成24年度の事業報告」、続いて、(株)玉泉鍍金工業組合 小林理事長よりご挨拶いただきました。

「埼玉鍍金工業組合の執行部においても舵取りは私や副理事長がやらせていただいているが委員

長・副委員長・理事となると現役の
 埼玉鍍金のメンバーが大多数で、間
 違ひなく当組合のエンジンは埼玉
 会で回っていると言つても過言
 ではなく、全鍍連に於いても「埼玉
 会」の名前をよく聞き、埼玉鍍金もい
 よいよ全国区になつてきたなど感
 じます。

一方組合の状況に目を向ける
 と、残念ながら前期も組合員が二
 社減つてしまつた。これ以上減る
 ことのないように皆で盛り立てて
 行きたいと考えます。

全く新しい時代に入ったようで
 予測が立たないのが正直なところ。
 年寄りというのは今まで失敗
 した経験があるのでなかなか勇
 気を持ち新しいことに踏み出せ
 ない。一方、若い方々の強みとし
 て痛みや怖さを知らない分、思い
 切つた行動が起こせる、それが若
 さの特権ではないだろうか？明治
 維新において若者が行動を起こし
 日本を変えたように今まさに、こ

の業界もそういった局面に来てい
 るのではと感じます。今後の皆さ
 んのご活躍と埼玉鍍金工業組合
 へのご支援を宜しくお願いいたし
 ます。」というお言葉をいただき、
 一同身の引き締まる思いでした。
 兼松精鍍工業(有) 島村氏による
 「閉会の辞」で定期総会は無事に終
 了し、同「料亭旅館新道家」の宴
 会場にて、懇親会が開催されまし
 た。

お忙しい中、ご来賓として、埼玉
 県鍍金工業組合から黒澤・吉田両
 副理事長、仁科顧問理事、会友の新
 藤様、阪本様にも御参加いただき、
 盛大な懇親会となりました。

まず、渡辺会長からは本年度活
 動テーマ「磨こう、人間力！」につ
 いてご挨拶を頂き

「埼玉鍍金の目的は自分自身を磨く
 こと、要するに人間力を高めるこ
 とだと思つています。人間は何事
 に於いても他人と関わらなければ
 生きていけません。他人に自分を

認めてもらい、動いてもらうとき
 に、理屈が通っているから人は動
 くものではなく、そこに「心」がな
 いと動いていかないと考えます。

仕事では勿論のこと、その他に
 おいても最後はその人の人間的な
 魅力が成否を左右するのではない
 でしょうか？魅力のある人には特
 別なことをせずとも自然と人が集
 まります。埼玉鍍金はもとより様々
 な方々と交流を図ることによつて
 人と交わり、色々な考え方に触れ
 自分自身を磨き成長していく、ダ
 イヤモンドはダイヤモンドでしか
 研磨出来ないように、人は人でし
 か磨かれませんか。

皆さんがお互い影響し合い成
 長してゆく、周りに自然と人が集
 まってくるような、魅力溢れる人
 になるための一助に埼玉鍍金がなれ
 ばという思いで今後も活動して
 参ります。」

再びこの会の意義を確認するこ
 とができました。

続いてご祝辞を頂いた黒澤副理
 事長からは「これだけグローバル
 な時代なのだから、もつと海外視
 察の機会を増やすべきだ、我々の
 時代には埼玉鍍金を通して外の世界
 を学んだ。百分は一見にしかずと
 という言葉もあり、大いに見識を深
 めて貰いたい」との埼玉鍍金の先輩
 としての貴重なご提案を頂戴しま
 した。

乾杯のご挨拶は埼玉鍍金工業
 組合顧問理事となられた仁科様よ
 りご発声いただき、和やかな歓談



の時間を過ごしました。

その中で、本年度新入会員として(株)アイコー 吉津拓人氏のご入会が決まり一言ご挨拶いただきました。今後とも埼玉鍍金メンバーとして会員との交流を深めていただき、埼玉鍍金の活動を盛り上げていただければと思います。

19時より開催された懇親会も瞬く間に終わりに近づき、締めくくりは新光メッキ工業(株) 新藤様のご発声による閉会の後、昨年に習い、参加者全員で集合写真を撮り懇親会は解散となりました。

埼玉県鍍金工業組合青年部「埼玉鍍金」は任期二年目となる渡辺会長を中心に今後も人間力を磨き合い有意義な活動を展開していく所存ですので、何卒応援宜しくお願いいたします。

総務委員 山本隆治

平成25年度 行事予定

◇平成25年9月5日(木)

第3回役員会

午後5時

第4回理事会

午後6時

第1回支部長会

午後6時

◇平成25年10月3日(木)

公害防止管理者研修会

午後2時 於埼玉会館

◇平成25年10月25日(金)

26日(土)

視察研修旅行

◇平成25年11月13日(水)

第4回三役会

午後0時 於組合会議室

第2回常任理事会

午後1時30分 於組合会議室

第5回理事会

午後2時30分 於組合会議室

第3回環境委員会

午後4時 於組合会議室

第3回技術委員会

午後4時 於組合会議室

◇平成25年12月5日(木)

第5回三役会

午後4時30分 於新道山家

第6回理事会

午後5時30分 於新道山家

◇平成26年1月22日(水)

第3回総務委員会

午後3時30分 於パレスホテル

賀詞交歓会

午後5時 於パレスホテル

◇平成26年1月29日(水)

30日(木)

ビジネスアリーナ

於アリーナ

◇平成26年2月

支部長会

◇平成26年2月6日(木)

埼玉県めつき競技会

排水優良事業所及び講演会

午後2時 於パレスホテル

◇平成26年3月14日(金)

第4回総務委員会

第4回環境委員会

第4回技術委員会

午後6時30分

◇平成26年4月

三役会

常任理事会

理事会

◇平成26年5月23日(金)

第5回総務委員会

午後2時30分 於パレスホテル

第49回通常総会

午後4時 於パレスホテル

印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL03(3875)1641